

第4回小砂環境芸術祭

KEAT2023

美術・集落・風 — 小砂の森

2023

4/29^土 — 5/07^日

9時～17時 ※最終日のみ14時となります

【会場】 栃木県那珂川町小砂地区

【KEAT2023案内所】にてパンフレットを配布 〒324-0611 栃木県那須郡那珂川町小砂 2710

【主催】 KEAT 小砂環境芸術祭実行委員会・NPO 法人美しい日本の森と藝術

【後援】 那珂川町・那珂川町教育委員会・那珂川町観光協会

下野新聞社・読売新聞宇都宮支局

【協力】 那珂川町馬頭広重美術館 小砂 Village 協議会 お母ちゃん Café

里山が美術館

出品作家

阿久津 溪

市川 裕司

内山 翔二郎

亀元 円

木村 剛士

構想計画所

佐々木 玲奈

ジャン・ビンナ

五月女 かおる

松尾 ほなみ

渡邊 透真

招待作家

有坂 隆二

岩本 拓郎

木村 爽陽

賛助作家

海老塚 耕一

【アートディレクター】

渡辺 豊重

【特別顧問】

KEATとはKoisago Environmental Art Triennaleの頭文字をとった略語で、キートと言います。

今回は10名の作家とひと組の制作集団を招聘して開催します。副題を「美術・集落・風—小砂の森」としました。「小砂の森」には集落があり、風が吹いています。そんな日常のなかに美術・芸術があるという光景がここでは普通という、そんな日が来ることを夢見て第四回目の展覧会は企画されています。

時間とともに朽ちていく作品もあります。期間だけ設置される作品もあります。それはかつての床の間のような世界を、あるいは自然と共生することで作られた美をここで再び構築し、自在な変化のなかを生きようと言うことです。作品と小砂の森・里山との関係は日々変化します。場に倚りかかる、境界に倚りかかる、季節に倚りかかることでなされる表現を大切にしたいということです。

環境を読み込むことで作品は作られますが、そこには常に新しい言葉が芽吹いているはずで、安全な場ではないですから自然とのコラボレーションと素材の表現力が大切になります。

此処は今までの美術館とは異なった壁のない美術館です。小砂が持つ自由と表現者の自由、そして鑑賞者の自由がここで出会い、あるがままの時間が広がることを願い本展を開催します。



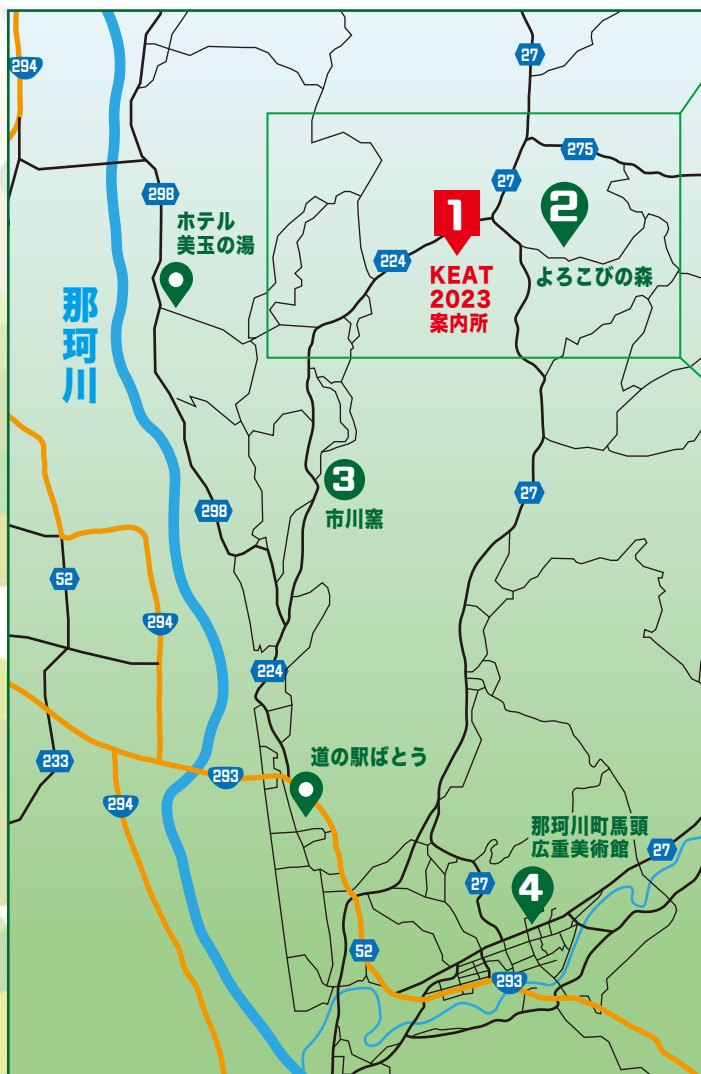
<https://koisago-art.net>



イベント クロージングパーティー

【日時】5月7日(日) 14時～16時 【場所】小砂コミュニティセンター

最終日にクロージングパーティーを行います。懇親会を兼ねて、揚琴演奏の第一人者金亜軍さんによる演奏と、恒例のお母ちゃん Café による素敵な軽食をご用意し、皆様をお待ちしています。参加は無料です。



1 KEAT2023 案内所 (パンフレット配布場所)

渡辺 豊重 〒324-0611 栃木県那須郡那珂川町小砂 2710

2 よるこびの森

内山 翔二郎・木村 剛士・構想計画所・ジャン・ビンナ

3 市川窯 **4 那珂川町馬頭広重美術館**

木村 爽陽 海老塚 耕一・木村 爽陽

5 旧馬頭西小学校音楽室 **6 小砂コミュニティセンター**

有坂 隆二・岩本 拓郎 市川 裕司

7 旧馬頭北保育所 **8 コミュセン先小屋**

佐々木 玲奈・渡邊 透真 阿久津 湊

9 石蔵 **10 小砂郵便局向い** **11 旧馬頭西小入り口**

亀元 円 五月女 かおる 松尾 ほなみ

12 藤田製陶所 **13 松並陶苑** **14 朱雀窯**

木村 爽陽 木村 爽陽 木村 爽陽

【お問合せ先】 実行委員会事務局 ホテル美玉の湯内